事後評価概要

事業名	ほ場整備事業(経営育成型)	地区名	くまがやちゅうおう 熊谷中央
事業箇所	熊谷市	事業実施機関	大里農林振興センター
総事業費	8億8514万円	事業期間	平成21年度~令和元年度

【事業目的】

本地域は、熊谷市の西部に位置し、国道17号と国道17号バイパスに囲まれた田畑混在地帯である。

現況農地は小区画、不整形で、道路は狭く湾曲しており、水路は 土水路で用排兼用のため、取水や排水に支障を来していた。

このような状況のため、耕作放棄地が増加する傾向にあり、地域農業の存続が危ぶまれる事態となっていた。

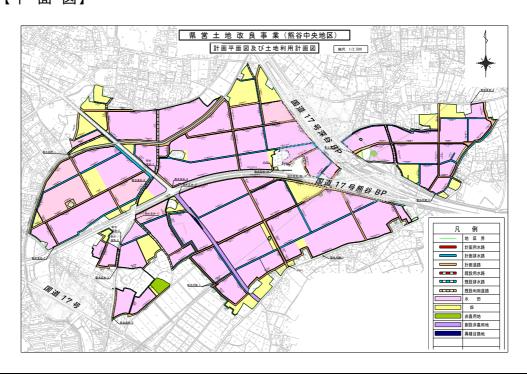
そこで、本事業により農地の大区画化、用排水路や道路の整備を行い、担い手農家の育成と農地の利用集積を進めることにより、農業経営の安定化を図るものである。

【事業内容】

区画整理92.2ha、整地工77.9ha 用水路工9.7km、排水路工7.7km、道路工10.4km

事業の概要

【平面図】



【事業実施前と現在の比較】

事業効果

	実施前 (平成20年)	事業完了時 (平成30年)	現 在 (令和5年)
担い手農家数 (認定農家数)	9人	13人	8人
担い手農家経営面積	19.7ha	43.9ha	44.1ha

農地の大区画化や道路、用排水路の整備により農作業効率が向上し、また 担い手農家への農地利用集積が進み、耕作放棄地の解消や規模拡大による 農業経営の安定化が図られた。

【整備前後の農地及び営農状況の比較】



その他





を備前の農地はでいる。
大型機械な率ができます。
対象では望めませる。
がでした。

整備後は、道路拡幅や農地の大区画化により、大型機械の導入 が可能となり、作業効率が大幅に向上しています。



事後評価 結果

事業実施により、大型農業機械の導入による作業効率の向上、用排水路の維持管理労力の軽減が認められる。また、担い手農家への農地利用集積(経営規模拡大)が着実に進んでいる。